



福智山ダム



福岡県 直方土木事務所
福智山ダム管理出張所

なぜここにダムができたの？

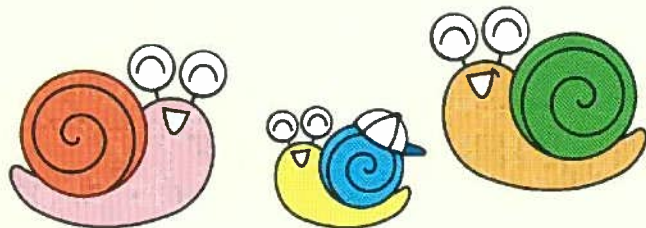
福地川では、過去たびたび洪水が起きていました。特に昭和28年6月の洪水では、たくさんの家が流されて、多くの人々が被害を受けました。

そこで洪水を防ぐためにダムをつくることにしました。

大雨の時に、雨をダムにため、急にたくさんの水が川に流れないようにします。これで、川があふれるのを防ぎ、家や人を洪水から守ることができます。

また、直方市では、住宅地が開発されて人口が増え、必要となる水道の量が増えてきました。その分、ダムにためた水を送って、水不足を防ぐことができるよう計画されています。

**ダムは私たちの暮らしを守り、
生活に役立つものなんだ。**



完成したダムのようす

平成11年6月29日の洪水のようす



ダムの役割



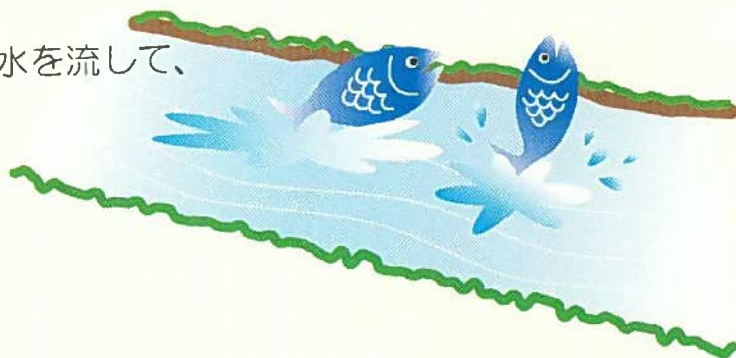
大雨の時の洪水を防ぎます

台風や梅雨などの大雨で、川に集まった水が一度に流れ出して、洪水を起こさないように、ダムに川の水をためて洪水から人や建物や田んぼを守ります。

2 いつも川に水が流れるようにします

長い間雨が降らない日が続くと、川の水が少なくなり、田んぼに水がひけなくなったり、川に住む生き物たちがくらしにくくなったりします。

このような時、ダムにためた水を流して、川の水を増やします。



3 各家庭に安定した水を送ります

ためたダムの水を必要な量だけ流し、水道の水が少なくなったり、でなくなったりするのを防ぎます。



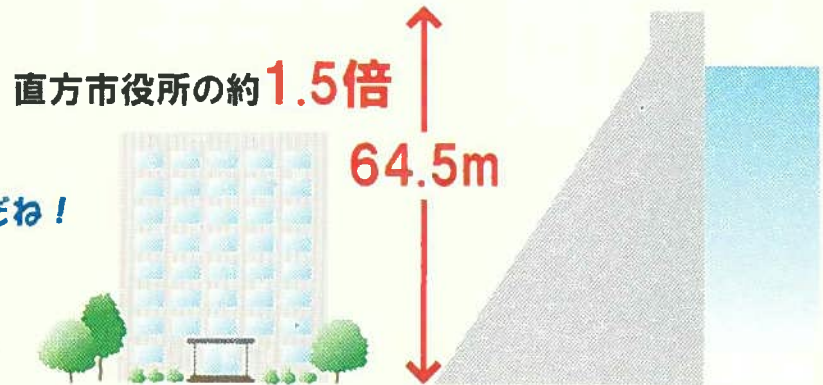
福智山ダムってどんなダム？

ダムの高さ

福智山ダムの高さは64.5mで、直方市役所の約1.5倍の高さになります。

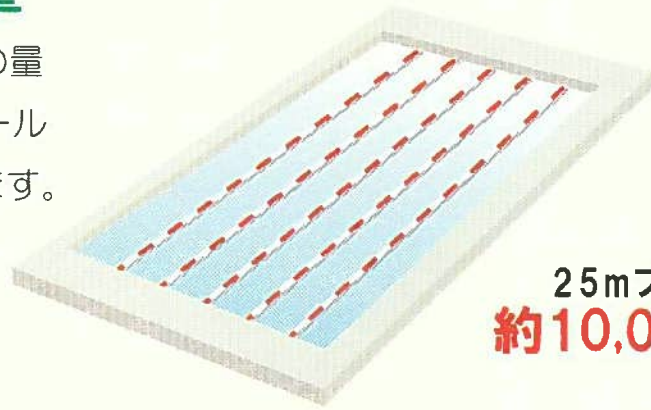


福智山ダムって
こんなに大きいんだね！



ダムにたまる水の量

福智山ダムにたまる水の量は271万 m^3 で、25mプールの約10,000杯分になります。

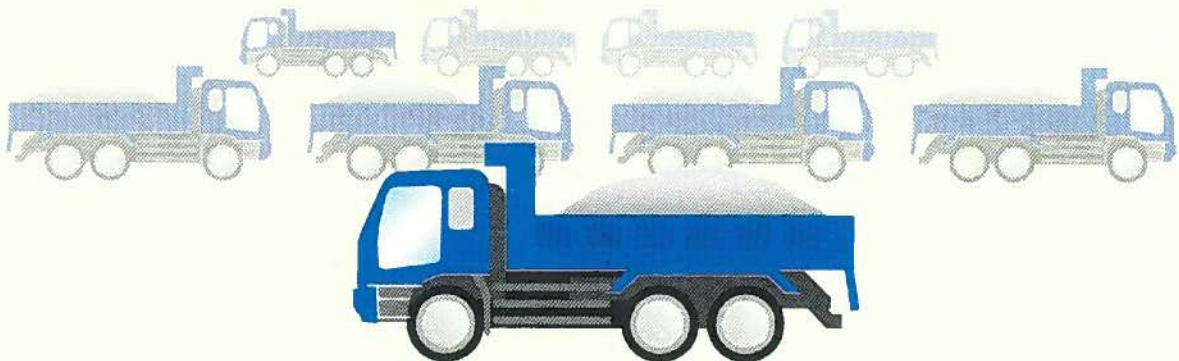


25mプールの
約10,000杯分

使われたコンクリートの量

福智山ダムの建設に使われたコンクリートの量は201,000 m^3 で、10tトラックで、約35,000台分になります。

10tトラックの約35,000台分



流域のようす



福地川は、直方市の東部に位置する1級河川です。

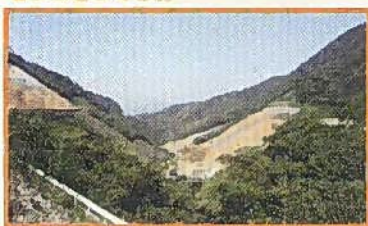
福地川の水源は福智山(標高901m)で、西へ流れて、彦山川に合流しています。

ダムの上流域は険しい山地ですが、中流域は水田、畑地が広がり、下流域は直方市街地となっています。

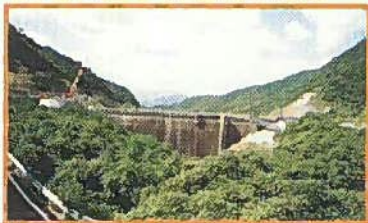
直方市東部の貴重な水源として利用され、市民のいこいの場として親しまれています。

ダムができるまで

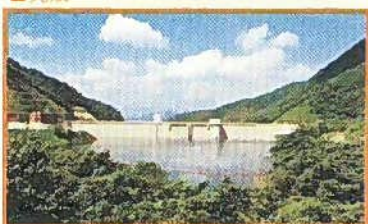
■ダムをつくる前



■ダム本体工事 (平成13年10月)



■完成



昭和43年～

ダムがつけられる場所があるかどうか調べる

昭和59年 8月

ダムができることで失われる土地などの持ち主に対して、それらを補う方法が決まり、買い取り始める

平成7年10月

田畑などの買い取りが終わる。

平成10年10月

ダム本体工事にとりかかる

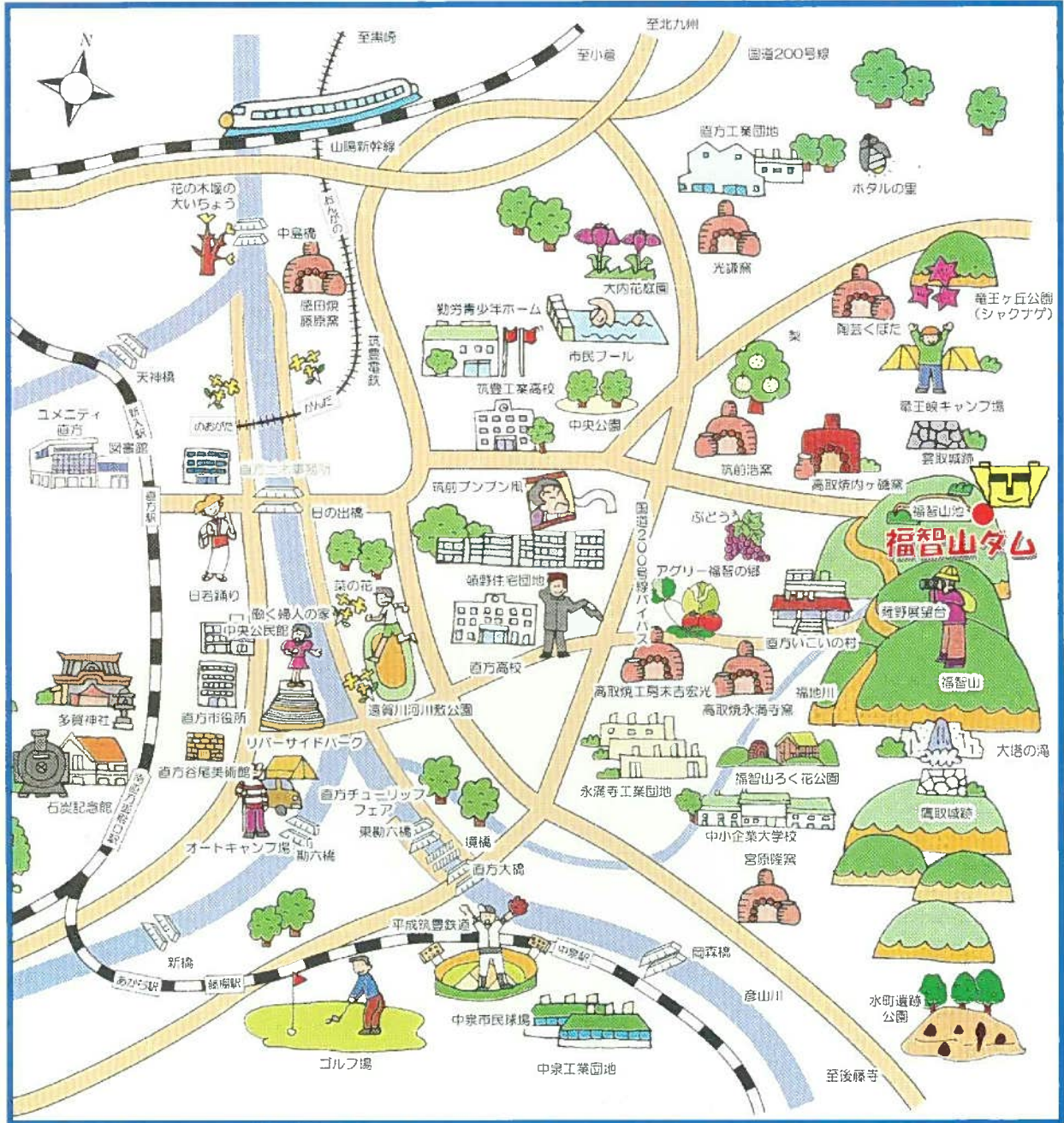
平成16年 3月

ダムの完成

こんなに
かかるんだなあ



福智山周辺マップ



福岡県 直方土木事務所
福智山ダム管理出張所

福岡県直方市大字頓野20-4

TEL 0949-26-7218

FAX 0949-26-8523